

# 平成23年度 東成区運営方針(案)

様式1

(区長:清野 善剛)

<b>区の目標(何をめざすのか)</b> ・地域のことを区民・区役所等がともに考え、まちづくりに積極的に取り組む、いきいきとしたまち ・安心・安全で暮らしやすいまち	<b>区の使命(どのような役割を担うのか)</b> ・まちづくりに、区民が参画・協働できるよう、積極的に支援すること ・区役所を、区民にとって身近で、気軽に安心して利用できる、ふれあいいっぱいのコミュニティスペースとすること
--	--

<b>平成23年度 区運営の基本方針(どのように取り組むのか:区長の方針)</b> 地域を支援する区役所として、区民との連携・協働によるまちづくりの推進を図るとともに、区民による地域運営の仕組みづくりに向けて、特に次の課題に重点的に取り組みます。
--

## 全体概要

### I 「大都市、そしていちばん住みたいまちへ」の実現に向け、重点的に取り組む主な経営課題

主な経営課題	主な戦略	主な具体的取組(23年度予算額)
<b>経営課題1【地域主権の確立に向けた区民主体の地域運営の推進】</b> 多種多様化する地域課題に対し、まちづくりの主役である区民や企業、団体等の活動力がより効果的に発揮できるよう支援する必要がある。	<b>【1-1 地域活動の基盤づくり】</b> まちづくりの主役である区民が地域課題解決に向け、参画協働できるよう、人的・物的に支援する基盤をつくとともに、活動する区民の掘り起こしや育成、ネットワーク化を推進・支援する。	<b>【1-1-1~3 (仮称)地域活動協議会運営助成・支援事業(3,828千円)】</b> (仮称)地域活動協議会の設立・運営に向けた支援を行う。また、協議会において、地域課題解決に協働して取り組むとともに、地域のビジョン作成に向けて地域住民の意識調査、課題発掘につながるアンケート調査を実施する。 <b>【1-1-4 市民協働ネットワーク形成支援(544千円)】</b> 「ふれ愛パンジー」のネットワーク形成支援により、地域活動の活性化を図る。
<b>経営課題2【区民との連携・協働によるまちづくりの推進】</b> 区役所と区民の協働によるまちづくりの取り組みをより効果的に進めるために、現状の枠組みにとらわれることなく、地域間連携を進めるなど自由で活発な活動ができるよう支援する必要がある。	<b>【2-1 安心・安全なまちづくり】</b> 地域コミュニティを核としながら、区役所が一体となって、警察署や消防署、企業・事業所、医療機関など関係機関等と連携して安心・安全なまちとなるよう地域特性に応じて支援する。 <b>【2-2 地域のまちづくり活動の支援】</b> 個別の地域課題解決に向け、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず連携し、協働しながらさらに自由で活発な活動ができるよう支援する。また、区域・市域を越えた市民間の水平連携にも取り組み、広域的な市民ネットワークの構築をめざす。	<b>【2-1-1 地域防災ネットワーク支援(2,220千円)】</b> 「災害支援目録」の作成により、地域と企業のネットワーク形成を支援する。また、医師会、消防署と連携した防災訓練を実施し、地域の連携体制を構築する。 <b>【2-1-2 東成区防犯対策事業(1,511千円)】</b> 自転車盗及びひったくり防止対策推進のため、街頭犯罪防止キャンペーンを警察署や地域住民と協力し実施する。 <b>【2-2-1 市民協働型自転車利用適正化事業「Do!プラン」(12,424千円)】</b> 「ノーチャリデー」等の市民協働型の取り組みを継続するとともに、地域住民による現地整理・啓発・指導を行う。 <b>【2-2-2 種から育てる地域の花づくり支援(2,717千円)】</b> 地域のボランティア等が育てた花苗を区庁舎や地域集会所などで活用し、まちの緑化を図る。 <b>【2-2-3 区地域福祉アクションプラン推進に向けた支援(1,700千円)】</b> ワークショップやフォーラムにより区民自らが福祉のあり方を企画・実践していける機運や場づくりを支援する。 <b>【2-2-4 未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援(2,077千円)】</b> 補助金交付や専門家の派遣などの側面的支援とともに、広報活動支援を行う。 <b>【2-2-7 市民主体の水平連携によるまちづくり支援(5,456千円)】</b> 区域・市域を越えた課題解決や資源活用について、関係区や隣接市の市民間の水平連携によってまちづくりに取り組み、広域的な市民ネットワークを構築し、市民主体の水平連携のスキームを構築する。
<b>経営課題3【区役所力の強化】</b> 区民と日常的に接する区役所が、地域の様々な主体がつながりをもてるよう積極的にコーディネートを行い、地域力の復興に取り組む必要がある。	<b>【3-1 地域を支援する区役所づくり】</b> 校区等地域における市民活動の支援を行う地域担当制を強化し、区役所の相談・調整機能を充実させる。 <b>【3-2 情報発信機能の強化】</b> 区の施策に対するニーズを積極的に把握し、施策・事業等に反映させる広聴機能の充実や区民が参加できる仕組みをつくる。 <b>【3-3 便利で快適な区役所づくり】</b> 一層の効率化を進めながら、窓口サービスの充実に努めるとともに、便利で快適な区役所をめざす。	<b>【3-1-1 地域担当制の強化】</b> 区職員が校区等地域に積極的に入って地域情報の把握、集約を行い、区役所の相談・調整機能の充実を図る。 <b>【3-2-1 (仮称)区政会議の設置・運営(324千円)】</b> 区民との協働型区政を実現するため、区民の意見を区政に反映し区政を評価するしくみとして(仮称)区政会議を設置する。 <b>【3-2-2 区民モニター(1,010千円)】</b> 区民の意見を収集し、区の運営方針等に反映させることでPDCAサイクルを確立する。 <b>【3-3-1 相談・調整機能の充実】</b> 事例によってプロジェクトチームを設置するなど区役所と事業所、保健福祉センターの連携を強化する。 <b>【3-3-2 市民にやさしい区庁舎づくり】</b> 子育て支援センター、水道局サービスステーションの設置及びレイアウト変更

### II 効率的な区役所運営に向けた主な取組

取組項目	取組内容
光熱水費や超過勤務手当の削減などによる歳出削減	・照明用蛍光灯の間引き、冷暖房時間の短縮などを徹底する。 ・平成22年度予算に対して10%削減をめざし、更なる削減に取り組む。
国保収納率アップによる歳入確保	・早期の納付相談・納付指導、財産調査に基づく厳正な滞納処分の執行を行う。

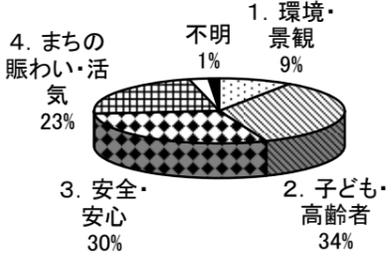
I 「大都市、そしていちばん住みたいまちへ」の実現に向け、重点的に取り組む主な経営課題(東成区)

様式2

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

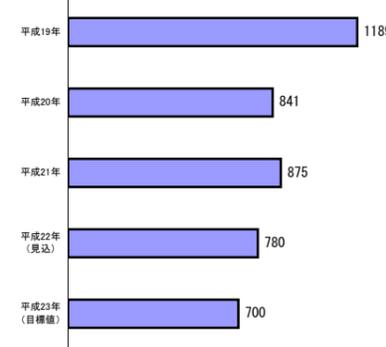
戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	全市的方针との関連
<p>【1 地域主権の確立に向けた区民主体の地域運営の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における課題は、社会経済情勢の変化に伴い、その内容について多岐にわたるとともに、地域ごとにおいても異なるなど、多種多様化や細分化が進んでおり、従来の地域コミュニティだけでは、対応することが困難な面がある。</li> <li>・そうした様々な地域課題への対応には、まちづくりの主役である区民や企業、団体等の活動力がより効果的に発揮されるよう支援する必要がある。</li> </ul> <p>&lt;まちづくりに活動において関心のあるテーマ&gt;</p> 	<p>【1-1 地域活動の基盤づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの主役である区民が地域課題解決に向け、参画協働できるよう、人的・物的に支援する基盤をつくとともに、活動する区民の掘り起こしや育成、ネットワーク化を推進・支援する。</li> </ul> <p>どのような成果を目指すのか(アウトカム)</p> <p>区民アンケートにおいて、まちづくり活動に関心のある区民の割合(前年度よりアップ)</p>	<p>【1-1-1 (仮称)地域活動協議会運営助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)地域活動協議会の立ち上げ期及び初動期において、運営を助成するための補助金を交付する。 [予算額600千円]</li> </ul> <p>【1-1-2 (仮称)地域活動協議会支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)地域活動協議会を設立し、地域課題や課題解決に協働して取り組むとともに、地域のビジョン作成に向けて地域住民の意識調査、課題発掘につながるアンケート調査を実施する。 [予算額3,000千円]</li> </ul> <p>【1-1-3 地域(校下)完結型まちづくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)地域活動協議会の合意形成や運営にあたっての透明性確保やコンプライアンス遵守など多岐にわたる分野における支援を行うことにより、地域活動協議会を中心とした地域(校下)完結型のまちづくり活動推進につなげる。 [予算額228千円]</li> </ul> <p>【1-1-4 市民協働ネットワーク形成支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働の拠点である東成区市民協働ステーション「ふれ愛パンジー」のネットワーク形成支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。</li> <li>・市民活動に取り組む地域の方の交流促進を目的に、まちづくりの専門家である有識者による学習会を開催し、市民協働のネットワーク形成を図る。</li> <li>・パンジー運営委員会とともに、市民協働の拠点であるパンジーの周知など、協働して運営に取り組んで行く。 [予算額544千円]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)地域活動協議会の設置: 2校下</li> <li>・地域住民への意識調査回数及び回答者数: 2回、800人</li> <li>・ファシリテーター、アドバイザーの派遣回数: 20回(2校下合計)</li> <li>・市民協働のネットワーク形成にかかる交流・勉強会の開催回数: 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【23年度新規事業】</li> <li>【23年度新規事業】</li> <li>【23年度新規事業】</li> <li>・NPOエフエー視察意見交換(21年4月)</li> <li>・豊中まちづくり視察意見交換(21年7月)</li> <li>・ラウンドテーブル(21年10月~22年3月): 5回、参加者数50人</li> <li>・異文化交流事業(21年4月)</li> <li>・落語顕彰碑建立記念事業(21年5月)</li> <li>・鳥取市との交流(21年5月)</li> <li>・アートフェスタ(21年7月) [21決算額1,329千円]</li> <li>・ラウンドテーブル(22年4月~): 4回、参加者数50人</li> <li>・アートフェスタ(7月) [22予算額2,394千円]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点・改革1-①</li> <li>重点・改革1-①</li> <li>改革1-①</li> <li>改革1-⑥</li> </ul>

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

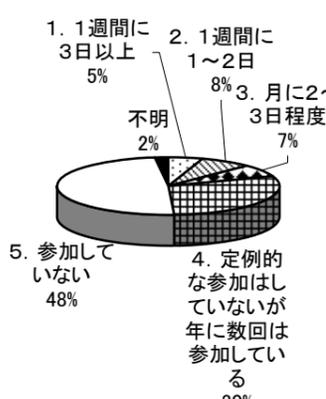
戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	全市の方針との関連
<p><b>【2 市民との連携・協働によるまちづくりの推進】</b>                      ・東成区は、昔から町会等を中心に地域コミュニティがしっかりしており、地域活動も活発に行われているが、近年のマンション建設等の増加に伴い、転入世帯を中心に町会への未加入世帯が増えるとともに、少子高齢化が進み、高齢者世帯が増加するなど、地域コミュニティを取り巻く環境は大きく変化している。</p> <p>・戦前からの老朽密集市街地が多く(木造家屋のうち昭和35年以前の建築が約35%:平成21年時点)、高齢化率も高い(65歳以上人口が23%:平成21年時点)。</p> <p>・地域住民、行政、警察署との協働により防犯対策を推進してきたことにより、街頭犯罪発生件数は減少傾向にある。</p> <p>＜街頭犯罪発生件数の推移＞</p>  <p>・今後も地域コミュニティを核として、それぞれの地域特性に応じた防災・防犯対策に取り組んでいく必要がある。</p>	<p><b>【2-1 安心・安全なまちづくり】</b>                      地域コミュニティを核としながら、区役所が一体となって、警察署や消防署、企業・事業所、医療機関など関係機関等と連携して安心・安全なまちとなるよう地域特性に応じて支援する。</p> <p>どのような成果を目指すのか(アウトカム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民アンケートで防災意識が高まったと回答した区民の割合(前年度よりアップ)</li> <li>・街頭犯罪の発生件数:700件</li> </ul>	<p><b>【2-1-1 地域防災ネットワーク支援】</b>                      ・企業・事業所が提供できる防災資器材の「災害支援目録」を作成して、災害時に地域と企業が活用できるようネットワーク支援を行う。                      ・区内に所在する医療関係施設を応急処置施設として活用できるよう、医師会、消防署等と連携した防災訓練を実施し、地域連携体制を整える。                      ・区民を対象とした防災意識向上のためのフォーラム・セミナーを消防署と連携して開催し、区民に自らの災害時の行動や住民共助の重要性について、周知・啓発を行う。                      [予算額2,220千円]</p> <p><b>【2-1-2 東成区防犯対策事業】</b>                      ・効果的な自転車盗及びひったくり防止対策を推進するため、当区オリジナルひったくり防止カバーを制作し、ツーロック施錠の励行と合わせた街頭犯罪防止キャンペーンを警察署や地域住民の協力を得ながら実施する。                      ・企業の協力を得て、スーパーマーケット等に啓発用横断幕等を設置し、買い物客へ啓発を行う。                      ・住民を対象とした防犯講演会、講座を警察署と連携して開催し、街頭犯罪から身を守るための取り組みを考える場を設定し、防犯意識の高揚を図るとともに、各団体間の活動連携を促進する。                      [予算額1,511千円]</p> <p><b>【2-1-3 青色防犯パトロール活動支援】</b>                      警察署と連携して、青色防犯パトロール活動を実施している団体の活動を支援する。                      また、防犯講演会等の場で啓発を行うなど、活動の普及に努める。                      [予算額:480千円]</p> <p><b>【2-1-4 落書き消去活動支援】</b>                      地域の自主防犯活動団体が主体となって、区役所・関係局・企業などと連携して実施する落書き消去活動に対して、消去資材の提供、作業支援スタッフの派遣、市民活動保険の付与など、安全で安心して活動できるよう包括的なサポートを行う。                      [予算額:485千円]</p>	<p>・災害支援目録活用のための懇談会:4回                      ・協力企業数:100社                      ・医療連携のための防災訓練:1回                      ・防災訓練参加者数:150名                      ・セミナー・フォーラム:3回</p> <p>・ひったくり防止カバー取り付け、ツーロック施錠キャンペーン:24回                      ・企業等の横断幕設置箇所:3箇所                      ・防犯講演会:2回、参加者数300人                      ・防犯講座:2回、参加者数100人</p> <p>・青色防犯パトロール活動団体数:3団体                      (再掲)                      ・防犯講演会:2回、参加者数300人                      ・防犯講座:2回、参加者数100人</p> <p>・落書き消去活動の実施:1回以上</p>	<p>・防災力向上懇談会:7回、参加者数178人                      ・区災害時要援護者支援班会議:9回                      ・防災フォーラム:2回                      [21決算額2,077千円]</p> <p>・企業防災セミナー:1回                      ・地域協働防災フォーラム:1回                      ・モデル4校下の防災力向上ワークショップ:5回(11月以降7回開催予定)                      [22予算額2,600千円]</p> <p><b>【23年度新規事業】</b></p> <p>・青色防犯パトロール活動団体数:2団体(市民局予算で実施)                      [22予算額 - (市民局予算)]</p> <p><b>【23年度新規事業】</b></p>	<p>改革2-⑧・重点</p> <p>改革2-⑧・重点・ビジョン-住環境</p> <p>改革2-⑧・重点</p>

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	全市の方針との関連
<p>・地域活動については、地域特有の課題解決や地域資源の活用をテーマに、区役所と区民の協働によるまちづくりの取り組みが活発に行われている。</p> <p>・引き続き、区民による地域活動や情報交流などの場と機会を充実させ、活動の活性化を図る必要がある。また、現状の枠にとらわれることなく、区域・市域を越えた地域間の連携にも取り組んでいく必要がある。</p> <p>＜地域の活動に参加する頻度＞</p>  <p>1. 1週間に3日以上 5%</p> <p>2. 1週間に1~2日 8%</p> <p>3. 月に2~3日程度 7%</p> <p>不明 2%</p> <p>4. 定例的な参加はしていないが年に数回は参加している 30%</p> <p>5. 参加していない 48%</p>	<p>【2-2 地域のまちづくり活動の支援】</p> <p>個別の地域課題解決に向け、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず連携し、協働しながらさらに自由に活発な活動ができるよう支援する。また、区域・市域を越えた市民間の水平連携にも取り組み、広域的な市民ネットワークの構築をめざす。</p> <p>どのような成果を目指すのか(アウトカム)</p> <p>区民アンケートにおいて、まちづくり活動に参加したことのある区民の割合(前年度よりアップ)</p>	<p>【2-2-1 市民協働型自転車利用適正化事業】</p> <p>＜駅前さわやかミーティング事業(協議会)＞</p> <p>・放置自転車問題を「地域課題」として捉え、区民の視点から対策やアイデア・企画の検討を進める。</p> <p>・「ノーチャリデー」を始めとする住民参加型・市民協働型事業の取り組みの継続。(駐輪場マップの作成、区内児童への自転車運転免許書発行事業)</p> <p>・放置自転車以外の道路環境維持活動との連携を目指す。</p> <p>＜駅前さわやかボランティア事業(啓発指導員)＞</p> <p>・地域住民の「有償ボランティア」による現地整理・啓発・指導事業の実施。 〔予算額12,424千円〕</p>	<p>・駅前さわやかミーティング開催回数:14回</p> <p>・駅前さわやかボランティア「有償ボランティア」数:17人</p> <p>＜駅前さわやかボランティア事業(啓発指導員)＞</p> <p>・地域住民の「有償ボランティア」による現地整理・啓発・指導事業の実施。 〔予算額12,424千円〕</p>	<p>・駅前さわやかミーティング(21年4月~3月):14回</p> <p>・区民まつり、市民寄席、文化サークル等での駐輪場整備に協働及び啓発行動(21年8、10、11、2月)</p> <p>・東小橋小学校との協働による自転車マナーポスター啓発(21年9月)</p> <p>・有償ボランティア:15人</p> <p>・トライアルプラン実施推進会議(21年4月~3月):10回</p> <p>・建設局と連携し、各駅周辺状況調査票の作成に着手(21年8月) 〔21決算額5,170千円〕</p> <p>・駅前さわやかミーティング(22年4月~):6回</p> <p>・警察との連携によるマナー教室(22年4月)</p> <p>・片江小学校との協働による自転車マナーポスター啓発(22年8月)</p> <p>・有償ボランティア:15人 〔22予算額2,170千円〕</p>	<p>改革2-⑧・重点</p>
		<p>【2-2-2 種から育てる地域の花づくり支援事業】</p> <p>学校園内のスペースを利用し、緑化リーダーや地域のボランティアが協働で種から花苗を育て、公有財産(区役所庁舎)で活用するほか、地域集会所などでも活用し、まちの緑化を図る。また、放置自転車対策事業と連携し、花苗のプランターを迷惑駐輪の多い場所に設置し、景観美化・放置自転車対策を図る。 〔予算額2,717千円〕</p>	<p>・生産する花苗数:8,000株</p> <p>・市民ボランティア団体数及び人数:2団体、50人</p>	<p>【23年度新規事業】</p>	<p>改革1-⑥・重点</p>
		<p>【2-2-3 区地域福祉アクションプラン推進に向けた支援】</p> <p>地域特性に応じた福祉のあり方を区民自らが企画・立案・実践していける場づくりを支援するため、モデル校下において地域福祉力向上ワークショップを実施する。</p> <p>また、区内で様々な分野で活動を行う団体・事業者・社会福祉施設等が、協働して地域福祉を支えていく機運づくりを目指し、区全体を対象に地域福祉力向上セミナーを実施する。 〔予算額1,700千円〕</p>	<p>・災害時要援護者支援検討ワークショップの成果を波及させる地域:2地域</p> <p>・モデル校下での地域福祉力向上ワークショップの開催:2地域×3回の計6回</p> <p>・区全体を対象にした地域福祉力向上セミナーの開催:3回</p>	<p>・災害時要援護者支援検討ワークショップ:障害者・高齢者・子育ての分野別に各3回、全体2回の計11回</p> <p>・子育て講座:2回、参加者数205人</p> <p>・障害者支援勉強会等:2回、参加者数47人 〔21決算額1,540千円〕</p> <p>・モデル校下での災害時要援護者支援検討ワークショップ:3地域×4回 〔22予算額1,692千円〕</p>	

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	全市的方针との関連
		<p>【2-2-4 未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東成区の未来像」の実現を念頭に活動するわがまちの活動に対し、補助金交付や専門家の派遣など、側面的な支援を行う。</li> <li>・区広報紙増ページ版、区民まつり、わがまちフォーラムにおける広報活動支援 [予算額2,077千円]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東成区未来わがまち推進会議メンバー数:130人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会議(21年6、9、12月)</li> <li>・世話人会を開催(11回)し、「まちづくりの4つの役割」をとりまとめる。</li> <li>・未来わがまちフォーラムを開催(22年2月):来場者数約100人</li> <li>・わがまち推進会議メンバー数100人 [21決算額2,637千円]</li> <li>・全体会議の開催(22年4、7月)</li> <li>・ネットワーク形成促進のための講師派遣 [22予算額2,369千円]</li> </ul>	
		<p>【2-2-5 市民協働型新たな「モノづくりフェスタ」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生野区、東成区のモノづくり企業の見本市を区民センター等の施設を活用して実施する。(両区役所及び商工会議所支部、地元産業会、工業会等で構成する実行委員会により主催)</li> <li>・市民グループに当初より参画してもらうことで、市民、企業、行政が手を携えた新生「モノづくりフェスタ」を実施する。 [予算額400千円]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノづくりフォーラム・フェスタの来場者数:1,500人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モノづくり意見交換会(21年4、7月)</li> <li>・モノづくりフォーラム2009(21年10月、生野区民センター):来場者数約120人</li> <li>・モノづくりフェスタ2009(21年10月、東成区民ホール):来場者数約1,300人、出展企業47社 [21決算額600千円]</li> <li>・住工共存まちづくり懇談会(22年8月～:3回) [22予算額544千円]</li> </ul>	<p>ビジョンー住環境・ビジョンー経済</p>
		<p>【2-2-6 区民健康づくり対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん、検診に対する正しい知識の普及啓発・理解のために健康講座を開催する。</li> <li>・医師会・健康づくりボランティア団体・地域役員等との連携、体制づくりを行う。 [予算額840千円]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん、検診にかかる健康講座:23回開催、参加者数700人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教室:38回開催、参加者数792人</li> <li>・保健師による区民の健康情報(ヘルスガイドVer2)の作成:1000部 [21決算額532千円]</li> <li>・健康教室:16回開催、参加者数446人</li> <li>・保健師による区民の健康情報(ヘルスガイドVer3)の作成:1000部 [22予算額516千円]</li> </ul>	

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

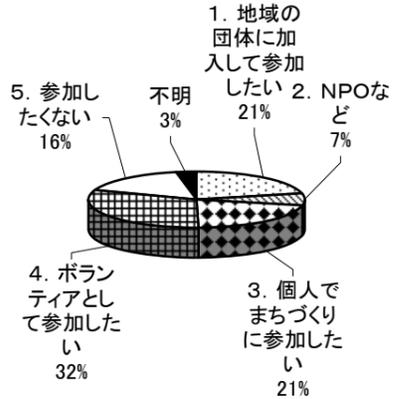
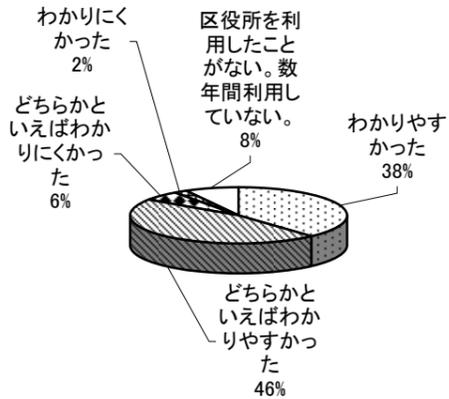
戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	全市の方針との関連
		<p>【2-2-7 市民主体の水平連携によるまちづくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東成区を含む区域・市域を越えた3つの課題解決・資源活用(川・街道・モノづくり)を対象に、関係区や隣接市等の市民間の水平連携によりまちづくり事業に取り組んでいく。</li> <li>次のプロセスを経て、最終的には広域的な市民ネットワークを構築し、市民主体の水平連携のスキームを構築する。</li> <li>(1)水平連携に係る他都市事例調査・モデル事業案作成</li> <li>(2)市民同士の交流・意見交換に係る市民へのアドバイス、啓発</li> <li>(3)広域的な市民ネットワーク形成促進のための講師派遣</li> <li>(4)市民主体の水平連携モデル事業</li> <li>・「日本一長い商店街イベント事業」</li> <li>・「平野川上流・下流域の平野川再発見事業」</li> <li>・「埋もれるまちづくり資源発掘・企業間交流事業」</li> </ul> <p>[予算額5,456千円]</p>	<p>チャレンジ目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な市民ネットワークの形成事例:3件</li> </ul>	<p>【23年度新規事業】</p>	<p>重点</p>
<p>【3 区役所力の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢の変化に伴い、地域における課題は内容が多岐にわたるとともに、地域ごとに異なるなど、多様化・細分化が進んでいる。そうした地域課題の解決に向けて、地域住民自らが主体的に取り組めるよう、区役所は区民と協働しながら支援を行っているところである。</li> <li>・今後は区民と日常的に接する区役所が、地域の様々な主体同士でつながりをもてるようさらなるコーディネート積極的に進め、地域を支援していく必要がある。</li> <li>・また、便利で快適な窓口サービスの提供はもちろんのこと、地域の実情・社会的ニーズに応じた適切なサービスが提供できる仕組みをより一層充実させる必要がある。</li> </ul>	<p>【3-1 地域を支援する区役所づくり】</p> <p>身近な行政単位である校区等地域における市民活動の支援を行う地域担当制を強化するとともに、区役所の相談・調整機能を充実させる。</p> <p>どのような成果を目指すのか(アウトカム)</p> <p>区役所がコーディネート・支援を行った件数(前年度よりアップ)</p>	<p>【3-1-1 地域担当制の強化】</p> <p>区役所と保健福祉センターが連携して、身近な行政単位である校区等地域に積極的に入り、地域情報の把握、集約を行うとともに、相談・調整機能の充実を図る。</p> <p>[予算額 ー]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報の把握と、集約を行い、相談・調整機能の充実を図る</li> <li>地域:11地域(校下)</li> </ul>	<p>地域事情、地域特性、地域課題を直接知るために、区職員が地域に出向き、情報収集し、地域との情報共有を図ってきた。</p>	<p>改革2-①</p>
	<p>【3-2 情報受発信機能の強化】</p> <p>区の施策に対するニーズを積極的に把握し、施策・事業等に反映させる広聴機能の充実や区民が参加できる仕組みをつくる。</p>	<p>【3-2-1 (仮称)区政会議の設置・運営】</p> <p>区民との協働型区政を実現するため、区民の意見を区政に反映し区政を評価するしくみとして(仮称)区政会議を設置する。</p> <p>なお、運営にあたっては東成区未来わがまち推進会議とも連携する。</p> <p>[予算額324千円]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会の開催:5回</li> <li>・部会の開催:5回</li> </ul>	<p>【23年度新規事業】</p>	<p>重点・改革2-③</p>

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	全市の方針との関連
<p>＜どのような形でまちづくり活動に参加したいか＞</p>  <p>＜窓口で対応した職員の説明＞</p> 	<p>どのような成果を目指すのか(アウトカム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見反映による改善事例数(前年度よりアップ)</li> <li>区民アンケートで区役所が発信している情報について満足していると回答した区民の割合(前年度よりアップ)</li> </ul>	<p>【3-2-2 区民モニター】 区民意見の収集方法としてモニターを募集し、普段行政と接点がない区民の方が気軽に意見を述べるができるようにする。また、区の運営方針などに反映する情報として活用するとともに、区におけるPDCAサイクルを確立する。 [予算額1,010千円]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民モニター数:400人</li> <li>アンケート回数:4回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民モニター数:204人</li> <li>アンケート回数:4回 [21決算額0千円(市民局予算で実施)]</li> <li>区民モニター数:337人</li> <li>アンケート回数:3回 (1月に1回実施予定) [22予算額1,022千円]</li> </ul>	<p>改革2-⑩</p>
	<p>【3-3 便利で快適な区役所づくり】 一層の効率化を進めながら、窓口サービスの充実に努めるとともに、気軽に利用できる、より便利で快適な区役所をめざす。</p>	<p>【3-2-3 ホームページの充実】 市民が日常生活や地域での活動に役立てることができるよう、広きめ細やかな行政情報や地域に密着した情報をリアルタイムに発信する。また、区独自コンテンツの充実を図るとともに、迅速な情報更新を行う。 [予算額84千円]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ分類の見直し・更新回数:4回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新回数の増加等リアルタイムに情報を発信 [21決算額69千円]</li> <li>区長メッセージの公開</li> <li>区民センターの空室状況にリンクし、区民が利用しやすいよう情報提供 [22予算額120千円]</li> </ul>	<p>改革2-②</p>
	<p>どのような成果を目指すのか(アウトカム)</p> <p>区民アンケートで区役所の窓口サービスについて満足していると回答した区民の割合(前年度よりアップ)</p>	<p>【3-3-1 相談・調整機能の充実】 区民からの多種多様な相談に迅速かつ適切に対応するため、事例によってプロジェクトチームを設置するなど区役所と事業所の一層の連携強化を図る。また、便利で快適な区役所づくりを目指し、区役所と保健福祉センターの連携をより一層進めるなど、窓口サービスの充実を図る。 [予算額 -]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政連絡調整会議の開催:12回</li> <li>事業所(署)連絡調整会議の開催:12回</li> <li>プロジェクトチーム等によって取り組んだ事例:1件以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政連絡調整会議の開催:12回</li> <li>事業所(署)連絡調整会議の開催:12回 [21決算額 -]</li> <li>行政連絡調整会議の開催:12回</li> <li>事業所(署)連絡調整会議の開催:12回 [22決算額 -]</li> </ul>	
		<p>【3-3-2 市民にやさしい区庁舎づくり】 子育て支援センター、水道局サービスステーションを区役所内に開設し、区民の利便性の向上を図る。 [予算額 - (こども青少年局、水道局、市民局予算で実施)]</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所1階において、証明書発行窓口と届出窓口を分ける</li> <li>区役所2階に保健福祉部門の総合受付窓口を設置</li> <li>ボイスコール、ベビーキープの設置 [21決算額10,052千円]</li> <li>障害者用トイレ(オストメイト対応)の設置 [22予算額10,936千円]</li> </ul>	
		<p>【3-3-3 市民協働ネットワーク形成支援】(再掲) 市民協働の拠点である東成区市民協働ステーション「ふれ愛パングー」(区役所1階)のネットワーク形成支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。 [予算額549千円]</p>			

## II 効率的な区役所運営に向けた主な取組(東成区)

様式3

取組項目	新たな市政改革との関連	取組の方針・目標内容 (いつまでにどのようなことをめざして取り組むのか)	平成23年度の取組内容
業務・実施体制見直し ・市民から信頼される職員と組織風土づくり		区役所、区役所職員に対する市民の満足度(前年度よりアップ)	・職員の窓口対応スキルやコーディネート能力の育成をめざして、区役所独自の職員研修を実施 ・職員のチャレンジ精神の育成やモチベーションアップをめざして、区長表彰制度を実施
歳出削減 ・光熱水費の削減	3-①	電気・ガス・水道の使用量について、平成25年度までに対22年度比較で、5%以上の削減に取り組む。	・照明用蛍光灯の間引きの徹底 ・冷暖房時間の短縮の徹底 ・電熱温水器の停止の徹底
・超過勤務手当の削減	3-⑥	平成22年度予算に対して半減をめざし、取組みを進める。	・平成22年度比較で10%削減を目指し、さらなる削減に取り組む。
歳入の確保 ・国民健康保険料収納率の向上	3-⑦	・国民健康保険料の収入確保に向けて、早期の納付相談・納付指導を強め、未収金の回収・発生縮減に努める。また、特別の事情もなく納付に応じない世帯については、負担の公平性の観点から、財産調査等による納付資力の調査を行い、滞納処分による強制徴収を実施する。 ・これらの収入確保の取組みにあたっては、「国民健康保険料収納対策運営方針」を基本に、保険年金担当総体での取組みを図ることとする。 ・「国民健康保険料収納率向上対策会議」の設置 ・目標収納率の設定 ・口座振替納付の加入勧奨 ・国民健康保険の資格及び賦課の適正化 ・厳正な滞納処分の執行	・目標収納率 昨年度実績以上の収納率の確保(86%) ・口座振替納付の加入勧奨 新規加入者に対する勧奨の強化 ・国民健康保険資格の適正化 他保険加入者への届出勧奨と年金事務所への社保加入の状況照会 ・滞納整理の強化 財産調査に基づく納付交渉及び厳正な滞納処分の執行
・ホームページ、広報紙への広告掲載	3-⑦	平成27年度までに、平成22年度比較で10%の収入増を目指す。	・広報紙広告募集時に、広告入稿数の増になるように広告主の募集を積極的に行う。